

令和3年8月3日

各校バドミントン顧問の先生方

夏大会の運営について

【会場に関する諸注意】

- ・高校から新型コロナウイルスの感染者がでた場合の休校処置については、試合直近の大阪府教育委員会のガイドラインの指示に従います。現時点では、試合時に休校の場合は、選手は棄権となります。コロナでの休校になった場合は南高校の伊藤まで連絡をお願いします。
- ・すべての会場では、プレー中の選手以外は必ず**マスクの着用**をお願いします。外している場合は当該生徒には声かけをさせていただきます。
- ・施設内や館内での食事はできません。エネルギー補給については、ゼリーなどの機能性食品と強く推奨します。
※ 感染については、室内での会話しながらの飲食は新型コロナウイルス感染の最もリスクの高い場面とされています。館内や校内での食事はご遠慮ください。試合の付き添いの関係により食事を行う場合は、必ず外で個食・黙食を徹底してください。
- ・学校会場については、公共交通機関をお使いください。
- ・大会については**無観客**で行います。選手以外の部員、保護者の来場も控えていただくようお願いいたします。
- ・体育館入場時には必ず手指の消毒を行うように指導をお願いします。

【個人戦について】

- 出場選手(出場ペア)につき**審判員1名のみ**体育館へ来ることが可能とする。ただし、各校の事情により、選手のみの場合も認める。(例外として、1部個人戦は審判員1名が必要です。)選手のみの場合には事前に本部に試合番号と選手名を連絡する。試合当日、同会場に同校から午前と午後に分かれて2名出場するときは、待機時間を短くするという観点から、午前と午後別に審判員の生徒を準備することを推奨する。ただし、各校の事情により、選手2名での対応も可能とする。その際、選手は食事を体育館施設外で個食・黙食を徹底し行うこと。
- ・個人戦の付き添い顧問または外部コーチについては各会場各校1名までとする。

【団体戦について】

団体戦は2コート展開で行う。敗者の学校はすぐに帰宅すること。

※ 春の大会からの変更点

登録した選手・マネージャー・などを含めて各校最大10人までの体育館へ入場を可能とする。

(試合は2コート展開で行います。可能な限り審判要員を連れて来てください。)

会場が多く設定され、十分に密の状態を避けることができる。

2コート展開で試合を行うため審判が必要となる。

会場で運営に少しでもお手伝いが可能な先生は、本部にお声かけをお願いします。消毒作業や受付など普段の大会より人手が必要になります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【試合のプレーに関する諸注意】

- ・試合に出場する場合は、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品のみの製品が使用可能です。次の製品は使用することができません。また、ユニフォームには背面に学校名などの表示が必要です。

例) 合格品でないユニフォーム(ユニクロのポロシャツなど)

合格品でないアンダーウェア(アンダーアーマーのコンプレッションウェアやタイツ)

普通の長袖の下着や T シャツ(ユニクロのヒートテックシャツやヨネックスの T シャツなど)

学校で使用する体操服や体育館シューズ

- ・サーブの前の意識的で過度な声出しはやめるようにしてください。**特に、対戦相手に向かっての声出しは飛沫感染の防止の見地からも禁止**します。ハイタッチもやめてください。

声出しがあまりにもひどい場合は本部から注意させていただきます。

- ・BIRD の P33~42 の競技規則をよく読んでいただき、選手には審判用紙の記入など基本的なことができるように事前に学校での指導をお願いします。

- ・シングルス、ダブルスどちらについて、春の大会では全体への説明会の内容が伝わり、サーブ位置が非常に高い選手が少なくなったように思われます。これからもサーブ位置についてはルール厳守をお願いいたします。規則上は次のようになっております。あまりにも高いと判断した生徒については、本部から声かけ をさせていただきます。

(6)サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体が必ず コート面から 1.15m 以下でなければならない。

- ・何か大会中や試合中に問題が起きましたら、本部まで遠慮なく声をかけてください。

《大会運営におけるガイドライン》

【参加者、および運営者が遵守すべき事項】

(1)会場出入口及び施設利用等

- ① 発熱者(37.5℃以上)の入場を禁止する。

- ② 開場時に人数を区切って入場する

タイムテーブルに記載されている時間帯の1時間前から当該校の選手・顧問のみ入場できる。入場の際は入口受付の役員の指示に従う。

- ③ 体育館入退館時に必ず手指のアルコール消毒を行う。

- ④ 外履きは各自ビニール袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。

- ⑤ 更衣室では、着替えのみとし、シャワー・ロッカーは使用しない。更衣室は、密を避けるよう各自が心掛けて利用する。

- ⑥ ゴミは各自が持ち帰り、自宅で処分する。

(2)競技会場(競技スペース)及び競技関係用具類等

- ① フロアの入退場時に必ず手指のアルコール消毒を行う。

- ② 遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。

- ③ 換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。

- ④ コートサイドに選手が各自のバッグを持参し、飲み物も各自バッグに収容する。

- ⑤ コーチ席は設ける。換気時に消毒を行う。

- ⑥ フロアに汗拭き用のモップを常備しておく。モップについては、換気時に消毒を行う。

- ⑦ 線審は、試合終了後に線審席を消毒する。
- ⑧ 得点板を使用し、換気時に消毒を行う。
- ⑨ ボールペンや審判用紙のボードは、こまめに消毒する。
- ⑩ マイクを使用の際は、マスク着用を必須とする。
- ⑪ 本部受付にはアクリル板などを設置する。

(3) 競技関係者及び競技中の確認事項

- ① 主審、線審は、マスクを着用する。(水分補給に留意する。)
- ② 主審・線審は途中で交代しない。
- ③ コートへの入退場は、速やかにコートに集合する。移動の際はソーシャルディスタンスを確保する。
- ④ 選手同士や審判との握手は行わない。
- ⑤ トスは2 m以上離れて行う。
- ⑥ シャトルの交換は選手が行う。
- ⑦ 審判が勝者サイン欄に勝者確認の記名を行う。
- ⑧ 審判は、敗者審判とする。敗者は審判の試合が終わったら、速やかに退場し帰宅する。
- ⑨ ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。
- ⑩ 床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用する。
- ⑪ 汗を手で拭かない。
- ⑫ 汗をコート内やコートサイドに投げない。
- ⑬ シューズの裏を手で拭かない。
- ⑭ 意識的に試合中の声出しはしない。
- ⑮ プレーヤー同士やコーチとハイタッチ等の接触を行わない。
- ⑯ コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。
- ⑰ 応援は、声援を不可とし拍手に限定し、指定した席で行う。
席を移動しての応援や手すりからの応援はしない。
- ⑱ 観戦の際には、待機中の選手もマスクの着用を義務づける。
- ⑲ 会場内での諸注意等を事前周知する。
- ⑳ フロアに降りられるのは当該チームの選手、線審要員、顧問、コーチのみとする。
- ㉑ 学校体育館では、観客席がないので上記以外の選手は体育館外で待機する。
- ㉒ 飲食は、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、黙食をしてください。
また、可能な限り屋外で行うこと。(会場により屋外禁止の場合もある)

【大会参加者に関する留意事項】

(1) 各会場受付時に、学校単位で当日の出場選手、付き添いの顧問、関係者の健康チェック票一覧を受付に提出する。過去2週間以内に以下に該当する場合は自主的に休ませてください。

- ・くしゃみ、咳、喉の痛み、微熱以上の発熱の症状
- ・倦怠感や息苦しさがある ・嗅覚や味覚の異常がある
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている

国、地域への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合

(2) 学校単位で、各日・会場ごとに参加者名簿と一日の行動記録を作成しておき、1カ月は保管する。

大会主催者への提出の必要はありませんが、大会参加後、2週間以内に新型コロナウイルス感染者が出た場合に、保健所や医療機関に提出することや、感染経路を辿るために必要です。

(3) 大会参加後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者(運営責任者)に、速やかに濃厚接触者の有無等を報告する。

(4) 棄権時は、高体連HP、メール及び電話等で本部に連絡する。

(5) 以上、感染防止のために主催者が作成した注意事項を遵守し、指示に従うこと。